

表紙解説（産学官連携プラザ）

表紙は工学部内に設置されている産学官連携プラザの正面写真である。平成23年5月24日、プラザ内に「とくしま地域産学官共同研究拠点」が開設されました。右側の写真は産学官連携プラザ前の整備された通路であり、その右側が総合科学部となっています。入り口右側には日よけとして毎年ゴーヤーが植えられています。7月末には大きく成長し写真のようになっています。

徳島県は独立行政法人科学技術振興機構（JST）による地域産学官共同研究拠点整備事業における全国28の構想支援地域の一つに採択されました。特に、「LEDテクノロジー」および「エネルギーテクノロジー」の2分野を中心に、先端技術、革新的施術を研究開発するとともに、高度技術者を養成し、地域企業力を高め、地域経済の活性化、地域産業構造の変革などを目的とし、その拠点本部が本学産学官連携プラザ内に設置されました。

産学官連携プラザ2階にLED部門（一部は徳島県工業技術センターに設置）、3階にエネルギー部門の機器が多数設置されており、活用のための支援体制も整っております。紙数の関係で、ここには全部を掲載することはできませんが、右の写真にありますような機器が設置されており、共同研究等を通じて活用されることが期待されております。

右側中図は、NMRシステム（核磁気共鳴測定システム）であり、リチウムイオン2次電池電極材料などにおけるイオン物性を明らかにするため、Li核を始めとする多核種の広帯域でのNMR測定を行いイオンダイナミクスに関する情報を得ることで、エネルギーデバイス材料開発を進める装置です。右側下図は、マトリクス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分析装置（MALDI-TOF-MS）ブルカー・ダルトニクスであり、LEDの動植物細胞に対する効果を分子レベルで解析し、LEDの応用開発を進める装置です。

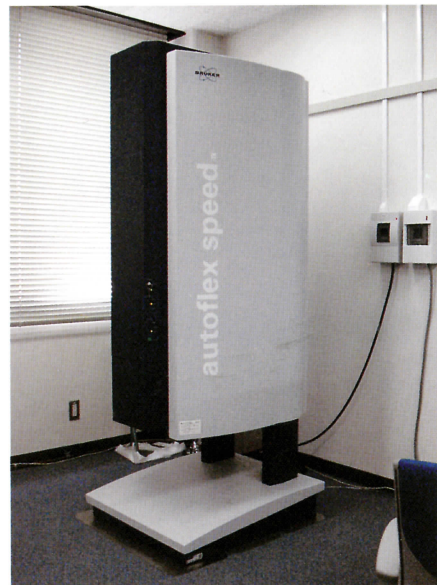
是非、共同研究等にお役立て下さい。



産学官連携プラザ前の風景



設置機器一例（NMR システム）



設置機器一例（質量分析装置）